

新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：長谷川 朋弘

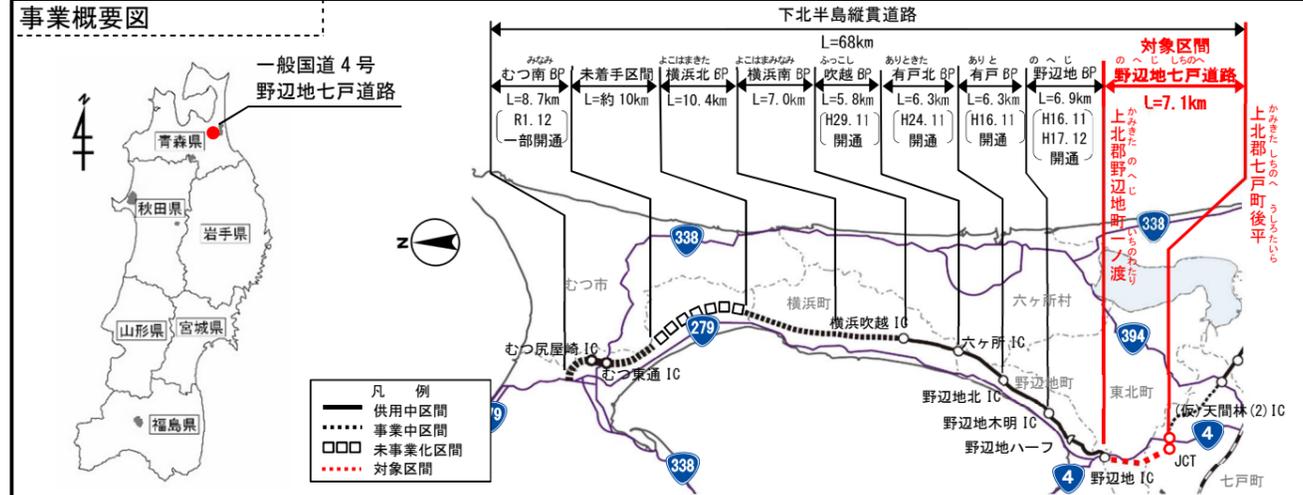
事業の概要

事業名	一般国道4号（下北半島縦貫道路） 野辺地七戸道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：青森県上北郡野辺地町一ノ渡 至：青森県上北郡七戸町後平	延長	7.1 km		

**事業概要**  
下北半島縦貫道路は、下北地域の中心都市であるむつ市を起点に、東北縦貫自動車道八戸線と接続する地域高規格道路である。  
このうち、野辺地七戸道路は高規格道路ネットワークのミッシングリンクの解消を目的とした延長7.1 kmの道路事業である。

**事業の目的、必要性**  
当該区間の整備により高規格道路ネットワークのミッシングリンクが解消され安定した物流経路を確保。また、新幹線駅から下北地域の観光拠点へのアクセス性向上により周遊観光ルートを構築し、観光振興を支援する。さらに、冬期の走行環境の改善により事故発生リスクを低減させ、安全性向上を図るものである。

全体事業費：約290億円      計画交通量：約15,500台/日



**関係する地方公共団体等の意見**  
【青森県知事】  
事業化することについて同意します。  
下北半島縦貫道路は、東北縦貫自動車道八戸線と一体となって地域間の連携強化や農林水産業・観光産業等の発展、地域医療の強化等を支援するとともに、災害時における避難路や物資輸送等の機能を有する重要な路線です。  
事業化されることになれば、青森・県南・下北の各地域を連結する高規格道路の整備が大きく前進することとなり、県の基本計画で掲げる「生業」と「生活」が好循環する地域の確立に大きく寄与するものと考えております。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**  
・新規事業化については妥当である。

**事業採択の前提条件**  
■費用対便益：便益が費用を上回っている。  
■手続きの完了：計画段階評価手続き完了（R3.6.25）

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.2 (1.3)	総費用：1922億円 （事業費：1770億円 維持管理費：142億円 更新費：10億円）	総便益：2228億円 （走行時間短縮便益：1826億円 走行経費減少便益：270億円 交通事故減少便益：132億円）	基準年 令和3年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.1（交通量 -10%）	B/C=1.3（交通量 +10%）		
		事業費変動	B/C=1.1（事業費変動 +10%）	B/C=1.2（事業費変動 -10%）		
		事業期間変動	B/C=1.1（事業期間変動+20%）	B/C=1.2（事業期間変動-20%）		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	—	注目すべき影響はない		
		事故対策	◎	規格の高い路線の整備により冬期の走行環境の改善とともに、事故リスクの低減 【冬期における死傷事故件数（12月～2月）】 現況：9件/4年 ⇒ 整備後：3件/4年（約7割減少）		
		歩行空間	—	注目すべき影響はない		
	社会全体への影響	住民生活	—	注目すべき影響はない		
		地域経済	◎	高規格道路ネットワークのミッシングリンクの解消により安定した物流経路の確保 【主要渋滞箇所の回避】 主要渋滞箇所 現況：3箇所 ⇒ 整備後：0箇所 【下北地域（むつ総合卸売市場）から全国（八戸JCT）への所要時間短縮】 現況：104分 ⇒ 整備後：84分（20分短縮）		
		災害	—	注目すべき影響はない		
環境		—	注目すべき影響はない			
	地域社会	◎	七戸十和田駅から下北地域の観光拠点となるむつ市内への所要時間が短縮 【所要時間の短縮 七戸十和田駅～むつ市内（下北名産センター）の所要時間】 現況：70分 ⇒ 整備後：58分（12分短縮）			
事業実施環境	○	青森県知事、青森県高規格道路網建設促進期成同盟会等により、下北半島縦貫道路未着手区間の早期事業化を要望				

採択の理由

費用便益比が一体評価で1.2と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価及び都市計画変更手続きが完了し、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、安定した物流輸送の支援、観光振興や走行環境の改善等、当該事業の整備の必要性・効果は高いと判断できる。  
以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
※B/Cの上段の値はむつIC～（仮）天間林（2）ICを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果

## 新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

### 事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
当該区間の整備により、冬期の走行環境が改善し、災害や事故発生リスクを低減させ安全性の向上を図るとともに、地域の産業振興や観光振興に寄与するものである。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>下北半島縦貫道路は、八戸市～むつ市を連絡する高速ネットワークの一部に位置づけられるが、ミッシングリンクとなっている。</li> <li>対象路線の並行現道には迂回路がなく、平成24年豪雪時には立ち往生車両による長時間の通行止めが発生するなど、信頼性の低さが課題。</li> </ul>	※東北圏広域地方計画（H28.3） ・災害リスク低減のためにハード対策として、緊急輸送道路の強化、格子状骨格道路ネットワーク整備等を推進。 ※青森県新広域道路交通ビジョン（R3.6） ・下北半島縦貫道路（中略）等がミッシングリンクとなっており、また、その現道区間は急峻な地形で冬期をはじめとする交通隘路が存在していることから、高規格幹線道路等のネットワークの構築が急務。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>堆雪による道路幅員減少や路面凍結等、特に冬期に走行環境が悪化する。</li> <li>冬期は事故件数の増加や正面衝突事故割合が2倍になるなど、冬期の安全性が課題。</li> </ul>	※東北圏広域地方計画（H28.3） ・東北圏においては、東北圏特有の地勢や冬期間を含めた厳しい自然環境等が都市の連携や交流を阻害する要因となっており、圏域内外の交流や人々の暮らしに大きな影響を与えている。 ※青森県新広域道路交通ビジョン（R3.6） ・県民が道路行政に期待している項目でも「冬場の除雪・排雪の充実」が半数以上で最も多く、（中略）本県における冬期交通環境の改善が重要であり、雪に強い道路交通網の確保が課題となっている。
地域経済・地域社会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の成長産業と高付加価値資源の流通を支える安定した物流ネットワークの拡充と強化が必要。</li> <li>新幹線を利用する観光客に対し、地域の広域観光拠点へ連絡するネットワーク強化が必要。</li> </ul>	※青森県基本計画「選ばれる青森への挑戦」（H31.3） ・交通・情報通信基盤を効果的に活用し、多様な交通手段の組合せによる目的地へのアクセス向上や交通情報の検索機能の充実などの利便性の向上を促進します。 ※青森県新広域道路交通ビジョン（R3.6） ・全国・東北平均よりも漁獲量の多い三八地域・下北地域の水産物を含め、鮮度・品質の保持が重要な水産物等の更なる流通拡大のため、県産品の販路拡大を支援する円滑な道路網の形成が課題となっている。 ・広域観光を可能とする広域道路網の構築ならびに既存の高規格幹線道路等やスマート IC 等の利用促進が課題となっている。
その他		

事業の有効性									
・当該区間の整備により、主要拠点間のリンクの評価がDランクからCランクに改善するとともに、ネットワーク全体の防災機能が強化される。 ・また、冬期においても安全で信頼性の高い道路ネットワークが構築され、地域産業や観光振興を支援するなど、有効性の高い事業と評価する。									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	三沢空港	むつ市	6 (5)	1.00 (D)	0.67 (C)	▲62.7  (▲11.5)	0.11 (0.03)	0.33 (0.01)	◎

事業の効率性
・計画段階評価手続き完了（R3.6.25）

※道路ネットワークの防災機能の上段の値はむつIC～（仮）天間林（2）ICを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果